

CSR Report 2013

CSRLレポート 2013

【2012.4 >>> 2013.3】



帝国ホテル

上高地帝国ホテル



明治23年(1890年)に「日本の迎賓館」として誕生した帝国ホテルの理念は、国際的ベストホテルとして国際社会に貢献することにあります。

昨年10月に日本で開催されたIMF・世界銀行年次総会では、帝国ホテル東京は東京国際フォーラムとともにメイン会場に選ばれました。この世界最大規模の国際会議を受け入れるにあたり、当社の現場力を結集して、無事、その大役を果たすことができました。

東日本大震災から2年。日本の社会も経済も、まだまだ完全に立ち直ったとは言い難い状況ですが、当社グループは、環境活動、社会福祉、食の安全、コンプライアンスなどの取り組みを通して、いかに社会に貢献できるかを考え、CSR活動を推進してまいりました。

ここに平成24年4月から平成25年3月までの、当社グループのCSR活動を、「CSRレポート2013」としてまとめました。

今後も企業として、そして日本のホテル業界のリーディングカンパニーとして、当社ならではのおもてなしの心・サービスを生かし、社会貢献を最大の使命のひとつとしてCSR活動を積極的に推進してまいります。

代表取締役社長 定保 英弥



企業理念

帝国ホテルの企業理念

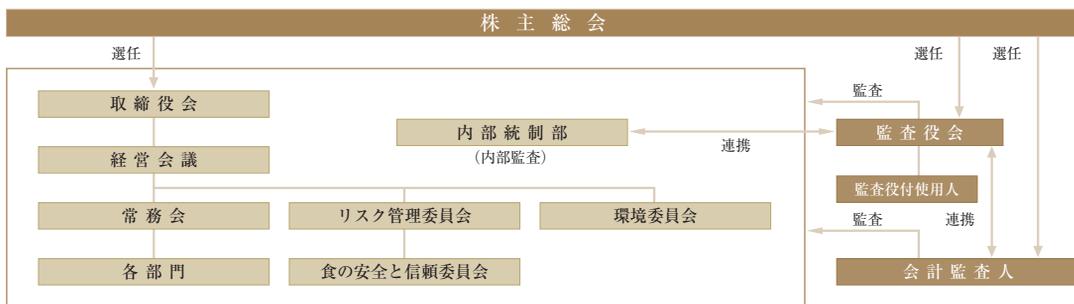
帝国ホテルは、創業の精神を継ぐ日本の代表ホテルであり、国際的ベストホテルを目指す企業として、最も優れたサービスと商品を提供することにより、国際社会の発展と人々の豊かでゆとりある生活と文化の向上に貢献する。

帝国ホテルの行動指針

- 私たちは、その伝統を十分認識し、お客様の要請を発想の原点として、提供する総てのサービス、技術の向上改善に徹し、新しい価値の創造に努める。
- 私たちは、創意工夫と挑戦の精神を尊重し、かつ協調と調和の態度を貫くことにより総合力の向上を追求する。
- ホテル業が、人を原点とすることを正しく理解し、規範たるホテル十則の導く行動に徹する。

企業統治

コーポレートガバナンス体制



コンプライアンス

CSR活動を推進する上で基本ともなるコンプライアンスについては、「リスク管理委員会」、「食の安全と信頼委員会」などの組織的な体制を機能させています。

また、法令、定款、社内規則ならびに社会的習慣、企業倫理を順守することを求めたコンプライアンスのための基本規程を定め、当社グループ全員に対しこの徹底を図るとともに、日常業務の法的問題の相談窓口や、コンプライアンスに反する行為に対する内部通報のためのヘルプラインを設置し、当社グループ全体に法令順守の徹底を浸透させています。

社会とともに

● IMF・世界銀行年次総会

10月9日～14日に、IMF・世界銀行年次総会が48年ぶりに日本で開催され、帝国ホテル東京は、東京国際フォーラムとともにメイン会場に選ばれました。関係省庁との綿密な打ち合わせと連携、そして現場力の結集により、無事に大役を果たすことができました。世界に向けた東日本大震災からの復興アピール、そして日本経済、国際経済の発展に貢献することができたこの経験は当社にとっても大きな財産となりました。



富士の間で開催された会議



内閣総理大臣主催レセプション

● 社会貢献

東日本大震災復興支援

東日本大震災 被災地復興支援ツアー

石巻、女川を中心に廻る1泊2日のツアーを計5回開催し、130名の従業員が参加しました。参加者は被災地の現状を目の当たりにし、体験談をうかがうことで、継続的な支援の必要性について理解を深めました。今後もグループを挙げて、息の長い支援を行ってまいります。

「料理ボランティアの会」活動

田中総料理長を始めとする調理スタッフが、東日本大震災の被災地を応援するNPO「料理ボランティアの会」の活動に参加しました。「美味しいものを食べて元気を出してください」という合言葉のもと、チャリティ講習会や食事を開催しました。



料理ボランティアの会

第3回帝国ホテル落語会

三遊亭圓歌さん、三遊亭円楽さん、春風亭小朝さんの3人の人気噺家が出演したイベントに多くのお客様にご来場いただき、その売上の一部を「東日本大震災義援金」として寄付いたしました。

インペリアルクラブ ポイントプレゼント

ご利用ポイントを商品に交換する会員向けポイントプログラム(インペリアルクラブ ポイントプレゼント)の選択アイテムに、新たに「東日本大震災への義援金」を設け、多くの会員の皆様にご賛同、ご協力いただきました。

社会福祉活動

サンタクローズの病院・看護施設訪問

クリスマス期間にフィンランドから招へいしているサンタクローズと当社従業員が、病院や養護施設などを訪問しました。



帝国ホテル大阪 チャペルコンサート

毎月2回開催しているチャペルコンサート「帝国ホテルの音楽會」の売上の一部を産経新聞厚生文化事業団に寄託し、社会福祉に役立てていただきました。



エコキャップ回収やベルマーク活動

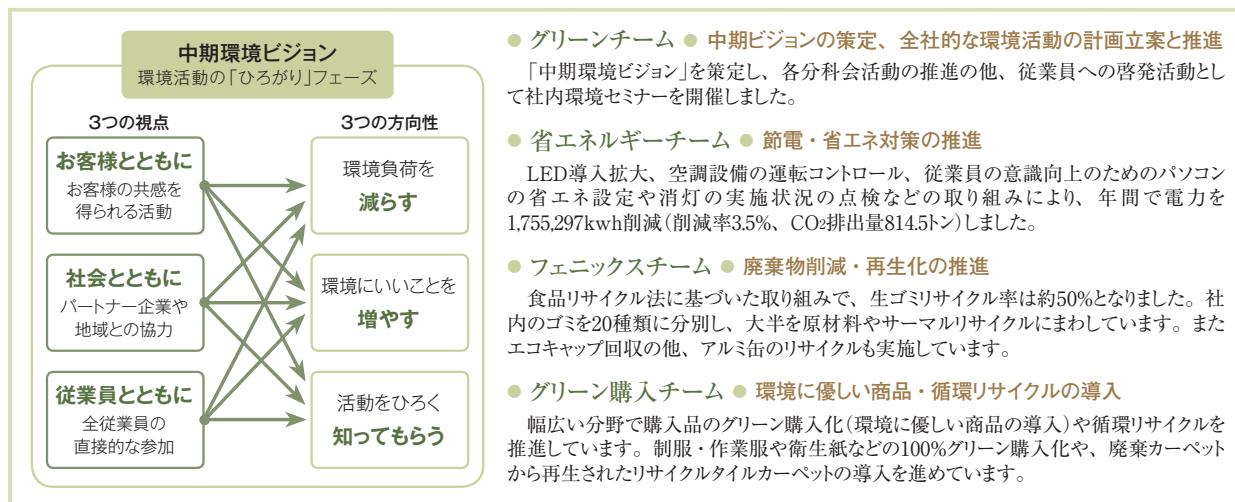
エコキャップ推進協会の活動に参加し、737,840個(ワチン換算877本)のエコキャップを回収しました。また、従業員有志でベルマークを収集し、「ベルマーク財団」を通じて東日本大震災被災地の小学校に送られました。

● 環境対策

当社グループでは社長を委員長とする「環境委員会」の下部組織として「グリーンチーム」を設置し、さらに分科会として「省エネルギーチーム」「フェニックスチーム」「グリーン購入チーム」が『中期環境ビジョン』に基づいた活動を行っています。

『中期環境ビジョン』

「環境負荷を減らす」「環境にいいことを増やす」「活動をひろく知ってもらう」という方向性のもと、環境活動の「ひろがり」を推進し、環境面でも「さすが帝国ホテル」と言われるような活動の実現に向けて取り組んでいます。



『日比谷打ち水月間』開催

社会的な夏期期間の節電要請に応じるため、近隣企業と協力して、電力を使わずに涼を得る日比谷の夕涼みを演出しました。



事業所内での循環リサイクル

東京事業所内の食品残さを肥料化して栽培した野菜の従業員食堂での提供、牛乳パックの従業員用ペーパータオル化などを行っています。



グリーン電力活用

当社主催の一部イベントと冬のイルミネーションでは、環境負荷の少ないグリーン電力を使用しました。



お客様とともに

● お客様の安全と安心のために

防災対策

大規模地震や水害などに備えて策定した災害対策マニュアルに基づき、さまざまな訓練を実施しています。平成24年度は行政から公表された首都直下地震震度7発生の可能性を踏まえた対策の追加と訓練も行いました。

こうした帝国ホテルの災害対策が行政からも高く評価され、「平成24年度千代田区防災貢献者」として表彰されました。また、7月に開催された「平成24年度丸の内消防署自衛消防訓練審査会男子の部」において、帝国ホテル自衛消防隊が優勝しました。優勝は、今回で3回目です。

お客様の安全と安心を確保すべく、日ごろより防災活動を積極的に推進しています。



自衛消防訓練審査会の様子

食の安全の確保

2008年に設立した「食の安全と信頼委員会」では、現場が主体となった全社的な食の安全確保の取り組みを推進しています。

たとえば、社外の専門家によるレストラン店舗や厨房などの総点検を年4回実施し、衛生管理状況のさらなる向上に取り組んでおります。またマニュアルの整備や従業員の研修など、お客様に安心して帝国ホテルの食事を楽しんでいただくために、さまざまな取り組みを行っています。



点検の様子

● さすが帝国ホテル推進活動

お客様の期待を上回るサービスを提供し、お客様から「さすが帝国ホテル」と評価していただくことを目的とし、「帝国ホテル行動基準」と9つの実行テーマ（挨拶、清潔、身だしなみ、感謝、気配り、謙虚、知識、創意、挑戦）の浸透と実践のための活動を推進しています。

お客様から「さすが帝国ホテル」と言われるにふさわしい働きをした従業員を、「さすが帝国ホテル個人表彰」で表彰しています。社長が受賞者の職場に出向いて表彰式を行うとともに昨年度の年間大賞表彰式を開催し、受賞内容を振り返ることでモチベーション向上、そして、お客様目線に立ったさらなるサービスレベルの向上を目指しています。



さすが帝国ホテル 年間大賞表彰式

● 帝国ホテルハイヤー全乗務員が「サービス介助士」資格を取得

当社グループの帝国ホテルハイヤーでは、全乗務員が「サービス介助士」の資格を取得しました。「サービス介助士」は「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、障がいがある方々やご高齢の方々に、安心してサービスを受けていただける対応ができることを証す、内閣府認証NPO法人日本ケアフィットサービス協会が認定する資格です。障がいがある方やご高齢の方が安心しておでかけできるよう、お手伝いをしてまいります。



全乗務員が「サービス介助士」資格を取得

株主の皆様とともに

帝国ホテルグループは、株主・投資家の皆様のご期待にお応えすべく努力を続けています。

● 安定配当

帝国ホテルは、長期にわたる安定的な経営基盤に基づく安定配当の継続を経営の基本方針とし、グループの業績と配当性向などを総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を実施しています。平成24年度の年間配当金は、当期業績の着実な回復や、今後の業績見通しをふまえ、前年比1円増配し、1株あたり24円(中間11円・期末13円)を予定しております。

従業員とともに

当社グループでは、全従業員が心身ともに健康で、働きがいのある職場環境づくりに努めています。

● 災害時の従業員安否確認システムの改良

東日本大震災の経験をもとに、災害時の従業員の行動要領について、より従業員の安全を確保する内容に改良しました。

また、当社グループでは、従業員の速やかな安否確認のため、既に導入している「従業員安否確認メールシステム」に加え、11月には携帯電話やスマートフォンにも対応した「災害時従業員専用ホームページ」を開設しました。このホームページを通じて安否確認情報の登録、会社からの重要な伝達事項の確認を行い、災害時の連絡体制をより万全にしました。

● 障がい者の雇用とワークライフバランスの推進

当社グループでは、障がい者の雇用を積極的に進め、ここ数年職域を広げています。こうした取り組みにより、障がい者の法定雇用率を上回る雇用を行っています。

ワークライフバランスの観点では、産前産後休暇が有給であることに加え、育児・介護のためのワークシェア制度や、ワークライフバランス相談窓口を設けるなど、従業員の仕事と家庭の両立を積極的に支援しております。

また、女性の管理職登用も積極的に行っています。

● 研修や海外留学の実施、福利厚生の実施

従業員のキャリア支援のための研修の実施や、通信教育制度での自己啓発支援、国際的視野を持ったスタッフを育成する海外留学制度など、公平なキャリアアップのための支援を行っています。

また、従業員のサークル活動支援やレクリエーション支援など、健康とリフレッシュのための福利厚生の充実にも努めています。



研修の様子



従業員のための厚生サービスセンター

<表紙写真>

2013年10月6日、開業80周年を迎える上高地帝国ホテル



帝国ホテル

株式会社帝国ホテル 総務部

〒100-8558 東京都千代田区内幸町1-1-1

TEL (03) 3504-1111 URL <http://www.imperialhotel.co.jp>

